



温故創新

岐阜市立岐阜中央中学校 令和7年11月28日（金） No.9

学校の教育目標「手を結び 学び合い・鍛え合う」

第3ブロック学校人権教育研究会を開催

11月26日（水）、岐阜中央中学校は、人権教育推進の重点目標「仲間との関わりを通して、自分の心の中にある差別や偏見に気付き、相手の立場や気持ちを考えて行動できる生徒の育成」を研究テーマとして、第3ブロック学校人権教育研究会を開催しました。道徳の授業を参観していただくとともに、研究会を行いました。公開授業の1年生「さかなのなみだ」では、公正、公平、社会正義について、2年生「ゴール」では、友情、信頼について考えました。

《研究会に参加していただいた他校の先生方からの感想より》

〈1年生道徳「さかなのなみだ」〉

- ・アンケートを活用することで、生徒一人一人が学級の実態を把握するよい機会になった。終末では、先生がアンケートと関わらせて振り返りを書くよう、声をかけてみえたので、全員がもう一度アンケートの内容を確認することで、生徒が自分自身の変容をとらえるきっかけになると感じた。
- ・活発な意見が出て、グループでの話し合いの際も、発問に対して熱く語っていた生徒が多くいて、とても驚きました。また、先生も、生徒の意見を寛容に受け止め、だれもが意見を言いやすい雰囲気があり、とてもすてきでした。
- ・先生と生徒がその場でさっとロールプレイができるに感動しました。生徒の気持ちが解放されているんだなと感じました。



〈2年生道徳「ゴール」〉

- ・全員が先生の話をしっかりと聞き、一生懸命考え、話し合っていたのが印象的でした。すてきな仲間たちなんだろうなと、1時間授業を見させてもらっただけで思いました。友達についての考え方や思いがあったかいなと思うことが何度もありました。今日の授業で考えていた友情は、「当たり前」ぐらいの感じがしました。相手の顔を見て、思いを伝えることが大切だと「わかっている」ようなみなさんでした。
- ・自分の考え方や思ったことを、近くの仲間や学級全体に話す姿がさすがだなと思いました。話を聞く姿もすてきで、一人一人のことを大切にすることができるなと感じました。グループで話をする場面では、一人が言った発言に対して「そう思う。」や「こう思うよね。」と広げていたところがすごいなと思います。



岐阜市立岐阜中央中学校 人権教育の実践

《日常の取組》

- ・6月に、生徒会執行部からの全校放送「岐阜中央中学校人権宣言～前向きに行動する、一人一人を大切に想う、仲間のよさをつなげる～」をうけ、学級ごとに、自分たちが大切にしたい人権について考えるとともに、それを「岐阜中央中学校人権宣言」の「各学級宣言」として位置付け、意識していくこととした。生徒会執行部が「岐阜中央中学校人権宣言」を中心として人権についての思いを伝えたことで、自分たちの日常生活において、人権を大切にしているとする意識をもつききっかけとなった。
- ・毎日の帰りの会で、仲間のよさを交流したり、昼の放送で、生徒会執行部や各学級の議員が仲間のよさを全校に広めたりすることで、人権に対する意識を高めるとともに、自分たちの行動に生かすことができた。「岐阜中央中学校人権宣言」のどの部分にそのよさがあてはまるのか照らし合わせて発表する姿も見られるようになった。また、縦割り交流会を行うことで、1年生は、よさを見つけるにとどまっていたのに対して、3年生は、なぜその行動ができたのかという理由まで考えており、学年の発達段階に応じてよさの質の高まりを感じることができた。

《人権学習の取組》

- ・学年ごとに、「学年で重点とする岐阜市12の人権課題」を設定し、人権学習に取り組んだ。

1年生 2 子どもの人権を守ろう	2年生 10 インターネットを悪用した人権侵害
3年生 6 外国人の人権を尊重しよう	

1～2年生では、「学年で重点とする岐阜市12の人権課題」に応じて、岐阜市人権啓発センターより借用したDVDを視聴し、人権について学習した。また、人権学習のまとめとして、岐阜市「人権に関する詩と標語」に応募した。3年生では、「学年で重点とする岐阜市12の人権課題」を「外国人の人権を尊重しよう」と設定し、6月に、全校研究会として、道徳「外国から来た転校生」の授業を行った。また、「第75回『社会を明るくする運動』作文コンテスト」作品募集の依頼があったことから、1～2年生と同様に、岐阜市人権啓発センターより借用した「『社会を明るくする運動』広報ビデオ」を視聴し、岐阜市の人権課題「刑を終えて出所した人の人権」について学習し、「第75回『社会を明るくする運動』作文コンテスト」に応募する作文を書いた。

- ・2年生では、7月に「SNSについて学ぶ会」を行った。少年育成支援官による講話を通して、SNSに関係するさまざまな問題などについて学習した。2年生は、「SNSで自分や仲間が悲しい気持ちになったりしないようよりよい使い方をしたい。/SNSを利用したいじめや悪ふざけは一生インターネットから消えない。そういうことをするのはただのイタズラではなく犯罪なので気を付けたい。/情報発信の面では『自分がされたら嫌なことはしない』ことを心にとめて立ち止まることが大切だ。/夏休みや普段の生活から常に心掛けてSNSと上手に付き合っていく。」など学んだ。

《地域行事等における取組》

- ・6月と11月に「岐阜中央中学校区『小中合同あいさつ運動』」を行った。生徒、地域の方々、PTA役員等が、岐阜小、明郷小、岐阜中央中学校の校門に立ち、あいさつを行った。
- ・「金華地区市民体育祭」や「第38回大佛フェスティバル」など、地域行事にボランティアとして積極的に参加し、相手のことを思いやる気持ちや相手のことを考えて関わることの大切さを感じることができた。

《その他の取組》

- ・「あったかい言葉かけ県民運動」への参加－「ひびきあいの日」の取組の一つとして実施
- ・夏休みの有志生徒による「1家庭1ボランティア」運動の取組－岐阜中央中学校コミュニティ・スクール支援推進委員会家庭教育部による表彰状の作成
- ・「決めて、守ろう！『我が家のルール』」への応募－1年生保護者との連携
- ・「オレンジリボン絵てがみコンテスト」への応募－「家族の笑顔」をテーマに温かい家族の様子を思い描いている。